

北名古屋市市民協働推進事業補助金採択事業自己評価シート

事業名 ささえあう地域ジョブ

団体名 特定非営利活動法人在宅福祉の会じゃがいも

項 目	着目点	自己評価	自己評価コメント
公益性 公共性	・事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業でしたか	○	昨年度の PR 方法にプラスして、チラシ・広報紙の設置場所を増やししながら、人々の交流や情報交換ができる場所づくりとしてふれあいサロンを開設。また対象者の方々には、自立性の工場・社会参加のために日常生活練習・宿泊体験の場を提供した結果、地域の方々には、対象者への理解が深まり、不安の解消・「見守る力」の強化になり、「駆け込み寺」的な場所づくりと地域の「絆」作りを行った事業です。
	・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	◎	事業の成果を発揮する場所として「ふれあいサロン」を活用して近隣住民・地域の方々のふれあい、お互いが「知る」から「理解」へとステップを踏み利益増進に繋がる。更に「駆け込み寺」的な場所づくりに貢献できた。
	・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	○	講演会・ふれあいサロン等への参加呼び掛けが、お母さんからお父さんへ、更に市外の一般市民参加と拡がり、協力も得られた。
実現性 計画性	・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	○	ふれあいサロン・日常生活練習では、実費協力金を徴収し受益者負担に繋げた。また日常生活練習も定期開催ではなく随時開催として対象者意欲を損なわない努力を行いながら働く喜びに繋げたことで計画と予算予定通り行えた。
	・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	○	当初「計画・立案」を定期会議にて「調整・確認」を図り年間計画に基づいた運営ができた。
先駆性 協働性	・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	◎	広く一般市民の方に、ふれあいサロンの「絵手紙・筆遊び・貼り絵」等の作品作りに協力していただき、その作品を交流会・イベント等で、掲示・閲覧していただき共感を得て貰えた。一般市民の意見を直接伺うことができた。
	・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	○	ふれあいサロン・講演会・交流会にて、同じ悩みをお持ちの方、他の団体・地域の方等との交流ができ幅広い意見も聞くことができた。
	・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	◎	親子・指導者間で随時受付の日常生活練習を通して一緒に「問題点の発見」を行い共通理解できた点を解決に結びつけることにより心強い支援ができた。 更にふれあいサロンでの発表の場にて体験・実施することで、親子が身近に体験時の喜びと働く意欲を早い段階で味わうことができる。
継続性 自立性	・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	○	平成 26 年度・平成 27 年度の活動をベースに今後は、近隣の方・学生の方・公共機関・公共機関等が興味を示した世代共通テーマを選択して聴講していただき、我々の活動を認知していただきさらに活動支援に結び付ける。

	・自己資金の確保に努めていますか	○	目標の会員・賛助会員数には至らなかったが、平成 26 年総会員数より平成 27 年総会員数は増加に繋がっており、ふれあいサロン・交流会・日常生活練習時の受益者負担を取り入れ資金確保に努める。
事業効果 有効性	・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	○	広報紙・チラシ等の設置場所拡大、印刷製本費の削減、教材の再利用等により経費削減に繋がった。
	・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	○	人々の交流や情報の交換の居場所作りと誰でも来やすい「ふれあいサロン」の開設により地域住民の理解が深まり、不安の解消・「見守る力」の強化に繋がり成果を得たと考える。

自己評価：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全然できなかった ーわからない 又は該当しない